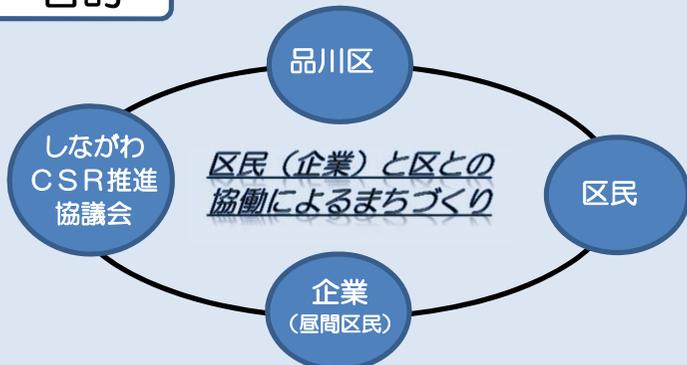


# 品川区 しながわCSR推進協議会

事例 1

## 目的



## 取組

### 平成22年5月 しながわCSR推進協議会発足

- 会員は区内に本社、事業所等を有する企業と品川区役所（平成26年10月30日現在 53企業が会員）
- 社会貢献活動に関する情報発信・交換を行いながら、各企業が環境・防災・教育・福祉・地域活動などさまざまな分野で社会貢献活動を実施
- 協議会総会・各種分科会開催に加えホームページ、レポート、月一回のメルマガ発行を通して情報提供を行い、企業の社会貢献活動を推進

## 協議会で紹介された企業の地域貢献活動

- 環境・・・会員企業合同で清掃美化活動を実施
- 防災・・・区と事業所との災害防止協定、地区総合防災訓練等への参加
- 教育・・・しながわ寺子屋、しながわ職場歩き等小・中学生に対するキャリア教育  
会員企業の特徴をいかした出前事業の実施
- 福祉・・・民間企業と連携した高齢者地域見守りネットワーク事業
- 地域活動・・・地域イベント等への協力



### ㈩ローソンの清掃活動(H26.7.26)

社員約20名が区内店舗のある道路を中心に清掃活動を実施

ローソンは毎月26日を「にっこり(=2)ローソン(=6)の日」とし“マチ”に合わせた取組みを実施

### 品川区安全安心パトロール協定 (H26.9.10)

区内を配達等で巡回している企業が、「しなぼうキャラバン隊」の一員となり、日常業務を通じ防犯活動に協力

巡回中の車両やヘルメットに防犯ステッカーを貼付することで、犯罪の防止をはかりつつ、地域の見守り活動を実施



## 目的

地域福祉のパートナーとして地域の企業が地域のボランティア団体を応援する新しい協働のカチを提案

- 区内企業で働く社員と区との地域のつながりを深める。
- ボランティアや地域貢献活動に参加する仲間づくりの機会を広める。

## 取組

### ちよだボランティアクラブの運営

地域企業がボランティアクラブの会員となることで、会員企業社員の地域ボランティア活動を支援

また、社員のボランティア活動時間に応じ、地域のボランティア団体に対し寄附をする仕組みも導入し、企業の地域貢献を推進

メンバー登録者へのサービス

- 区内ボランティア情報の提供
- ボランティアの参加履歴を記録
- ボランティア実施時に貯まるポイントの特典への交換



## 活動実績

### 会員企業

参加企業・・・50社  
うちマッチングギフト制度参加企業(※)・・・14社

※マッチングギフト制度  
社員のボランティア時間数に応じて、ボランティア団体に寄付を行う制度

### 会員企業のメリット

- 社員のボランティア活動時間を正確に把握することができ、「CSR報告書」等で活用可能
- 社員が個々の都合に応じてボランティア活動に参加することが出来るため、多岐にわたる社会貢献活動を行うことが可能
- 地域に密着した社会貢献であるため、地域とのつながりができ、顧客のニーズ発掘に寄与
- ボランティア活動を通じて、様々な出会いや気づきがあり、仕事やプライベートにいかすことが可能

### 募集ボランティア例

- 特別養護老人ホームでのレクリエーションお手伝い
- 地域の清掃活動、パトロール
- まち歩きでのバリアフリー地図作成
- 地域児童に対する食育教育



## 目的

増加する空き家、空き室を「負の遺産」ではなく、  
有用な「資源」「ストック」として捉え、活用

市民活動が活発な世田谷区では、自分たちの拠点や活動スペースを求める区民や活動団体が少なくない。

そこで空き家等を地域のため有効活用できるよう、空き家のオーナーと活用団体が主体となって行う活動を支援し、空き家の活用を促進。

## 取組

### 世田谷らしい空き家等の地域貢献活用モデルの募集

- 申請者自身が世田谷区内において空き家等を発掘し、その物件で行う地域貢献活用を企画し、これらをセットで応募する。
- モデルとして選ばれると、1モデルあたり最大200万円の助成を受けられる。助成金は空き家等の改修工事費、備品購入費等に使うことができる。

#### 対象企画の要件

- 区内の空き家等を拠点とした、地域交流の活性化、地域コミュニティの再生等といった地域貢献を目的とした公益的活用
- 自主的、自立的及び継続的に行われ、空き家等の地域貢献活用の先導的な事例となるもの

## 活動実績

### 平成25年度採用モデル

5団体の応募があり、うち3団体が採用

- ◆ 死別体験などによる心に深い悲しみを抱える子どもたちが集い遊べる場『グリーンサポートセンターせたがや』の設立
- ◆ シェアキッチン、コワーキング、イベントの開催のためのコモンスペース「シェア奥沢」の整備
- ◆ デイサービスと認知症カフェを備えた地域の多世代交流拠点づくり

### 採用モデルの紹介

(提案内容)

○ デイサービスと認知症カフェを備えた地域の多世代交流拠点づくり

- ・ 築年数が古く、駅から遠い木造アパートをデイサービスや認知症カフェにリノベーション。
- ・ 内装の改築は行うが、利用者のリハビリテーションも兼ねて過度なバリアフリー改造は行わない。
- ・ 施設利用者だけでなく、近所の方や子どもたちにも来たいと思ってもらえる、開放的な作りとする。

⇒ 公表委員から指摘された課題

用途上、デイサービスをすることは可能だが、福祉施設として利用するには法令上の基準があり、既存住居では難しい。



# 高島平団地空き家活用 「ゆいま～る高島平」

事例4

## 目的

### 既存ストックを活用したサービス付き高齢者向け住宅の供給

UR賃貸住宅の空き室に住戸単位のサービス付き高齢者向け住宅を整備し、暮らし続けることのできる団地としての機能を充実

## 取組

### 団地内空き室をサービス付き高齢者向け住宅「ゆいま～る高島平」に改修

#### 高島平団地

- 所在地…東京都板橋区
- 管理開始年…昭和47年
- 管理戸数…8,287戸



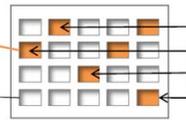
#### 事業概要

- 事業者として選定されたコミュニティネットがUR都市機構の高島平団地を住戸単位で20年間借り上げ
- 事業者は住居のバリアフリー化等の改修を行い、運営
- 対象団地内の1区画にサービス拠点施設を整備し、生活コーディネーターを常駐させ、安否確認、生活相談、緊急時に対応

《展開イメージ》

サービス付き高齢者向け住宅  
(住宅+サービス:民間事業者)

既存UR賃貸住宅



基本サービス提供



高齢者生活  
支援施設

## 活動実績

### 「ゆいま～る高島平」入居条件

- 敷金…家賃2ヶ月分
- 家賃…93,600～98,100円
- 共益費…2,700円
- サポート費…一人36,000円、二人54,000円
- 間取り…1R、1LDK(42.34㎡～43.51㎡)



⇒既存団地の空き室を利用することで、  
周辺同条件の施設と比較して、低廉な料金を実現

## 入居状況

- 募集30戸のうち27戸が予約済み(平成26年11月25日時点)
- 平成26年12月1日から入居開始

#### ○入居者の声

「高島平で環境を変えずに暮らしたい」  
「団地で多世代が暮らしているため、閉塞感がない」など

## 高島平団地におけるUR都市機構の他のプロジェクト

### ○MUJI×UR団地リノベーションプロジェクト

- 団地のもつ古き良き歴史を活かしつつ、無印良品を展開する良品計画の子会社ムジ・ネット(東京・豊島)と組んで住戸をリフォーム
- 昨年大阪で始まった同事業では、若い世帯の入居が目立つ